

「これは、苺のホールケーキ？ それとも……」。一瞬、自分のスケール感覚を疑ってしまうかのようなこの写真。実は直径9センチほどのショートケーキである。はみ出さんばかりに苺が顔をのぞかせるケーキが並ぶのは、明治時代から神田の地で洋菓子をつくり続ける老舗「近江屋洋菓子店」。ガラス扉を開けるとそこは天井の高いノスタルジックな空間で、タイムスリップしたような心地になる。

この店の菓子づくりは、早朝5時半、東洋一の青果市場と言われる大田市場での仕入れから始まる。オーナーの吉田太郎さんは毎朝市場へ出かけ、菓子里に使う果物を自らの目で確かめるのだという。件の苺サンドショートも、そんな市場通いから生まれた。青果店には卸せない、小粒苺の使い道を相談され、吉田さんのアイデアで、シンプルなながらも贅沢な苺のケーキが誕生した、というわけである。

「市場を歩いているとね、季節を感じるんですよ。自然のなかにいるわけじゃないんだけどね」と語る吉田さんの言葉を映すかのように、店頭ケーキたちも四季の移り変わりを告げている。

「苺が何個入ってるかって？ 分かんないな、並べられるだけですよ」と吉田さんは笑う。この店を語るとき、昔ながらの味を守り続ける洋菓子店などと、ありきたりな言葉だけで物足りないのは、ショートケーキに並ぶケーキに、驚くほどたっぷり果物が載っているせいだろう。そう、苺サンドショートばかりでなく、どのケーキも旬の果物が惜しみなく使われているのだ。深いまでにボリューム満点なケーキから、江戸っ子並みの気っ風のよさが感じられた。

近江屋洋菓子店 神田店 千代田区神田淡路町
明治17年創業の老舗洋菓子店。旬の果物を贅沢に使いながらもリーズナブルな洋菓子が人気。 www.omiyayougashiten.co.jp

菓子で綴る 東京歳時記。



目次

3 ◎菓子で綴る東京歳時記。
苺サンドショート

4 ◎大人の社会見学ルポ・舞台裏探検隊が行く！

東京新聞の舞台裏

6 ◎e！食同源
むくみ解消を目指す。

8 ◎巻頭インタビュー…元気の源を聞いてみました

原晋さん「青山学院大学 陸上競技部監督」

11 ◎東京都教育委員会からのお知らせ
メンタルヘルス対策事業のご案内

◎共済組合からのお知らせ

12 人間ドックのご案内
特定健康診査のご案内
任意継続組合員の方へ
任意継続組合員を希望される方へ
「3歳未満養育特例」について

16 退職時の年金手続きと説明会のお知らせ

17 「医療費のお知らせ」について
傷病手当金について

20 貸付金を借受けている方へ
かがやきメイト通信

21 ◎タイム隠された東京を捜せ！

1月	2月	3月
出初式 鳥越神社とんど焼き 神田明神だいこく祭 世田谷ポロ市 高幡不動尊 初不動だるま市	浅草寺 節分・福聚の舞 湯島天神 文京梅まつり 青梅マラソン	高尾山 火渡り祭 深大寺 だるま市 八丈島フリージアまつり ふっさ桜まつり



表紙の絵：冬 雪遊び

いわしま あゆ
イラストレーター

東京生まれ。2003年よりグラフィックデザイナーとして活動。デザインプロダクションを経て2006年よりフリー。現在はイラストレーターとして活動する他、本の装丁や企業のデザインディレクションなどで活動中。第2回東京装画賞入選。